

のぞみの園における 強度行動障害支援の取り組み



食事エリア

構造化

構造化とは、空間や時間、さまざまな活動などを整理して視覚的に分かりやすく伝えるための工夫です。構造化により障害に起因する様々な苦手さを補います。



ワークシステム

自立課題

はじめから終わりまで、可能な限り自分ひとりで行うことが出来るよう設計された課題作業のことを言います。自尊心を育んだり、精神の安定をもたらす効果があります。その人に合った課題は適切なアセスメントに基づいて作成されています。



課題



作業の様子



居室

日中活動

一人ひとり、作業に集中できるように配慮された環境と様々な活動が用意されています。平日の午前と午後、居住の場を離れて作業に取り組むことは心地よい疲れを誘い、規則正しい生活を送るための重要な活動です。

強度行動障害

への支援

有期限入所

強度行動障害の方を受入れ、ご本人の特性などアセスメントを実施し、行動障害軽減に向けた支援構築を目指します。

講師派遣

「強度行動障害の支援方法」や「事例検討」などの研修における講師派遣を行います。

援助助言

「支援」や「制度」に関する疑問や困りごとの相談に応じます。

(独) 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
事業調整部 事業調整課 地域移行・支援調整係

☎ 027-320-1602 (直通)
Mail: webmaster@nozomi.go.jp